

文化財 だより

NO.19

令和2年度

発行●太田市教育委員会 発行日●令和3年10月20日 編集●太田市教育委員会文化財課(群馬県太田市粕川町520 TEL 0276-20-7090 FAX 0276-52-6080)

古墳時代の巨大集落から出土した数々の希少遺物！

謎の線刻のある石



太田市北東部に位置する吉沢町。古墳時代、この地に巨大な集落がつけられました。小字から名をとって「反丸遺跡」と呼ばれる遺跡です。

太田市では、平成29年度から令和2年度にかけて発掘調査を行いました。

その結果、古墳時代の竪穴建物(住居)跡400軒以上、収納箱で900箱を超える遺物が見つかり、一つの巨大集落の様子が明らかになりました。



子持勾玉(こもちまがたま)



勾玉と管玉(くだたま)

これらの遺物のほとんどが、竪穴建物の床面ではなく、埋もれていく途中の土の中から出土したものです。廃棄され埋没していく建物跡で祭祀を行っていた可能性があります。



小型倭製鏡(こがたわせいぎょう)

「石製模造品の製作が行われた工房」と思われる建物跡が複数軒確認され、祭祀(マツリ)に関わる遺物のほか、水晶製勾玉や銅鏡、線刻のある石など、本来希少とされる遺物が多く出土している点も特徴です。

※QRコードで遺跡・遺物紹介動画ページへ





太田市指定重要文化財「冠稲荷神社本殿」 保存修理事業が完了しました！



修復後の冠稲荷神社本殿（南西から）

前回の屋根修理から数十年が経過し、腐朽が進んでいたため、令和2年4月8日から令和2年9月30日までの約6か月間をかけ、所有者の冠稲荷神社による「冠稲荷神社本殿屋根保存修理工事」が実施されました。

冠稲荷神社本殿は、現存する棟札から享保7年（1722）に建てられたとされる建物で、昭和47年9月26日に市の重要文化財に指定されました。

現在の屋根に葺き替えられた時期は不明ですが、経年による劣化が進んでおり、雨漏りも発生していたため、修復前と同様に銅板葺き屋根の葺き替えを行いました。



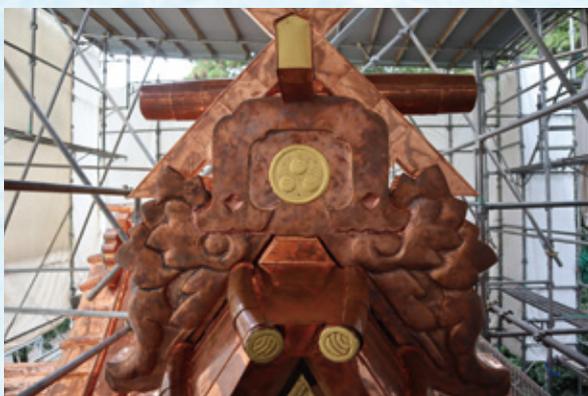
修復前の冠稲荷神社本殿（南西から）



古い銅板を撤去した屋根（屋根南面・南西から）



屋根下地修復状況（南西から）



復元した大屋根鬼板飾り（屋根東面・東から）



修復後の千鳥破風屋根（屋根南面・南から）

修理方針として、これまでの修理履歴を尊重して、現在の形状、材料をできるだけ保存することとしたため、屋根の解体調査を行いました。

古い銅板を剥がしたところ、屋根下地がこけら葺きになっていることがわかりました。

また、享保7年（1722）と書かれた墨書が新たに見つかり（右写真参照）、本殿の建築年代と実際に携わった職人の名前が判明しました。



こけら葺きの旧屋根下地（屋根北面・北西から）



享保7年（1722）に書かれた墨書

享保七年寅年上州古戸村 大工 内田源右衛門



で ま え こ う こ が く き ょ う し つ

出前考古学教室

文化財課では毎年、市内の小・中学校を対象に地域の歴史・文化を学んでもらう機会として、出前考古学教室を実施しています。学校に出張して土器や埴輪を間近で見触れてもらい、生徒さんたちに歴史を身近に感じてもらうことを目的としています。令和2年度はコロナの影響で実施が困難と思われましたが、太田市立太田中学校から要望をいただき実施することができました。

- とき 令和2年7月20日（月）から22日（水）
- ところ 太田市立太田中学校
- 見学者 市立太田中学校 生徒203名、市立太田高校 生徒6名

太田中学校では例年、1年生を対象として「古代の太田市」をテーマにした講座と展示会を行っていましたが、コロナの影響もあり、令和2年度は展示会のみの実施となりました。

教室1室をお借りし、縄文時代から古墳時代までの土器を中心に石器や埴輪、勾玉、鉄剣なども展示しました。また、前方後円墳の模型や埴輪専用展示台を用意し、当時の古墳の姿や埴輪がどのように並べられていたのか生徒さんたちがイメージしやすいよう工夫しました。



展示会場の様子



二ツ山古墳1号墳（新田天良町）の模型



円筒埴輪用の展示台

出土遺物整理作業

文化財課では、これまで実施した発掘調査の成果を公開するために、出土した遺物の接合や復元、実測、写真撮影等の整理作業を行い、資料化を進めています。令和2年度は駒形神社埴輪窯跡、北之庄遺跡、令和元年度太田市内遺跡などの各調査の整理作業を実施しました。

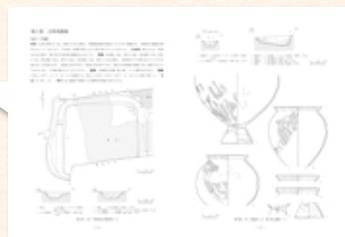
令和2年度には、令和元年度の各種開発に伴う確認調査をまとめた『太田市内遺跡16』と平成21・28年度に太田市立宝泉小学校敷地内で実施した発掘調査結果をまとめた『北之庄遺跡』を刊行しました。



令和2年度に刊行した報告書



整理作業風景





史跡金山城跡

戦国期の山城である史跡金山城跡（太田市金山町）では、大手虎口東端土塁にある露出展示の壁をはじめとする軽微な補修や除草などを行いました。

一方、金山城跡整備箇所を中心に活動しているボランティア組織の「金山城保存会」や「金山の松と竹を愛する会」の協力を得て、除草や竹林整理などの環境整備に取り組みました。



金山城跡の大手虎口

史跡上野国新田郡家跡

奈良・平安時代の役所跡である史跡上野国新田郡家跡（太田市天良町ほか）では、除草やゴミ拾いなど環境整備に取り組みました。

現地では、調査で見つかった建物の位置や規模がわかるように柱位置に赤い小型ドラム缶を置いて表示しています。



上野国新田郡家跡 正倉跡の柱表示

史跡天神山古墳

古墳時代中期（5世紀前半）の巨大古墳である史跡天神山古墳（太田市内ヶ島町）では、除草などの環境整備を行いました。



南上空からみた天神山古墳・女体山古墳



そり まる い せき

わた ら せ さんぎょうだん ち はつ かつちょう さ

反丸遺跡（おおた渡良瀬産業団地発掘調査）

- 調査場所 太田市吉沢町地内
- 調査期間 令和2年4月1日から令和2年8月31日
- 調査面積 約5,000㎡



反丸遺跡平面図（平成29年度から令和2年度分）

平成29年度からの継続事業として、おおた渡良瀬産業団地造成工事に伴う反丸遺跡の発掘調査を実施しました。

令和2年度は、遺跡の中央部のやや北（I区）を中心に調査を行い、その結果、古墳時代を中心として竪穴建物跡91軒、土坑28基、溝2条、ピット65基が確認されました。遺物も比較的多く、古墳時代の土師器・須恵器や石製品など遺物収納箱で163箱分出土しました。

過去の調査と同じく、石製品製作工房が複数軒確認され、遺物も「瑪瑙製勾玉」や「土鈴」など珍しい遺物が出土しました。また「鏡形土製品」ほか各種土製品がカマド付近から出土する事例が多く、カマドに係わる祭祀が行われていたようです。その他、竪穴建物の廃棄時や埋まっていく途中での祭祀などが想定されています。

現地での発掘調査が終わり、現在は整理作業を行っています。これから進めていくにつれ、分かることや更なる発見があると思われます。発掘調査報告書は令和6年に刊行予定です。

反丸遺跡の特徴

- 古墳時代の巨大集落（4から6世紀）
- 水晶製勾玉、子持勾玉や銅鏡など希少な遺物が出土
- 6世紀の石製模造品製作工房を複数軒確認
- 竪穴建物跡から各種須恵器が多数出土
- 竪穴建物跡から祭祀関連遺物が多数出土



I区上空撮（北西から）



竪穴建物跡の覆土から出土した瑪瑙製勾玉



出土した土鈴 ※QRコードで遺跡・遺物紹介動画ページへ



竪穴建物跡のカマド内から出土した鏡形土製品



きた の しょう い せき

北之庄遺跡（民間開発）

- 調査場所 太田市由良地内
- 調査期間 令和2年4月10日から30日
- 調査面積 約136㎡

仮鉄塔建設工事に伴い発掘調査を実施しました。その結果、平安時代の竪穴建物跡1軒、平安時代から中世の柵列2基、近世の堀1条、平安時代から中世の井戸4基、近世の井戸1基、平安時代から中世のピット31基が確認されました。また、平安時代から中・近世の土器片が出土しました。このことから、この地域では、古代から人々の生活が営まれていることが分かりました。



調査区全景（西から）



1号竪穴建物跡（西から）

か むかい なか にし だ い せき

川向・中西田遺跡（民間開発）

- 調査場所 太市内ヶ島町地内
- 調査期間 令和2年7月2日から3日
- 調査面積 約17㎡

宅地造成工事の道路築造に伴い発掘調査を実施しました。その結果、平安時代の竪穴建物跡2軒、古墳時代、平安時代の土坑各2基、時期不明の土坑1基が確認されました。また、古墳時代、平安時代の土器片が出土しました。このことから、この地域では、古代から集落が形成されていたことが分かりました。



調査区（東から）



調査区（西から）



ひがしまいづみ か しま い せき か しまうら い せき すいていとうさん どう えき ろ みなみ

東今泉鹿島遺跡、鹿島浦遺跡、推定東山道駅路南ルート（民間開発）

- 調査場所 太田市東今泉町地内
- 調査期間 令和2年9月28日から12月15日
- 調査面積 約1,461㎡

倉庫建設に伴い発掘調査を実施しました。調査区は建物の基礎部分のみの範囲に限定され、作業しづらい状況でした。調査の結果、縄文時代の遺物包含層、平安時代などの竪穴建物跡20軒、古代の井戸2基、古代から現代にかけての溝50条以上、縄文時代から古代の土坑47基、古代から現代のピット200基以上、古代の道路側溝、古墳時代後期から古代の水田跡や畠跡などの遺構が確認されました。また、縄文時代から近世の土器片や瓦片、石製品、鉄製品、銭貨、鉄滓、馬歯などの遺物が出土しました。堆積物から、この地域で古墳時代から平安時代に3回洪水があったことがわかりました。



調査区（南東から）



3号竪穴建物跡出土遺物（南西から）

ひがしまいづみ か しま い せき

東今泉鹿島遺跡（民間開発）

- 調査場所 太田市東今泉町地内
- 調査期間 令和2年11月16日から令和3年1月21日
- 調査面積 約1,435㎡

調整池拡張工事に伴い発掘調査を実施しました。その結果、奈良時代の竪穴建物跡1軒、古代の掘立柱建物跡6棟及び柱穴列2条、古墳時代から古代の溝7条、土坑24基、ピット375基が確認されました。また、土器片、鉄製品、石製品などの遺物が出土しました。溝については、南北方向を向いていて用水路として機能していたと考えられます。



調査区（南東から）



1号竪穴建物跡（西から）



12号土坑（南から）



ぼう づか い せき

房塚遺跡（民間開発）

- 調査場所 太田市内ヶ島町地内
- 調査期間 令和2年11月17日から11月25日
- 調査面積 約54㎡

分譲住宅建設に伴い発掘調査を実施しました。その結果、古墳時代の溝が1条確認されました。溝は東西方向に延びており、古墳時代前期後半から中期頃の土師器のほか、炭化物がまとまって出土しました。



溝から出土した
土器・炭化物
(北から)



調査区全景（北から）



古墳時代の溝（西から）

とう ぶ ち く い せき ぐん

東部地区遺跡群（民間開発）

- 調査場所 太田市堀口町地内
- 調査期間 令和2年11月19日から30日
- 調査面積 約31㎡

尾島東部土地区画整理事業の道路建設に伴い発掘調査を実施しました。その結果、溝1条、柱穴列2条、土壇墓1基、ピット20基が確認されました。



人骨頭部（西から）



土壇墓（南から）

土壇墓では、北に頭を向け埋葬された人骨1体が確認されました。人骨の同定分析の結果、この遺体は成人男性のものであることが分かりました。

また、遺体の腰椎部分では「永樂通寶（初鑄1408年）」が6点出土しており、六文銭として遺体にお供えしたものと考えられます。



溝を調査している様子（南東から）

調査区西側で確認された溝は、断面が急傾斜なV字形の薬研堀（やげんぼり）となっています。近隣の調査でも同様の溝が確認されており、それらを結ぶと方形の区画となることが分かりました。そのため、この溝は館の堀として掘削されたと想定されます。溝の東側には並走するように、柱穴列2条が確認されました。

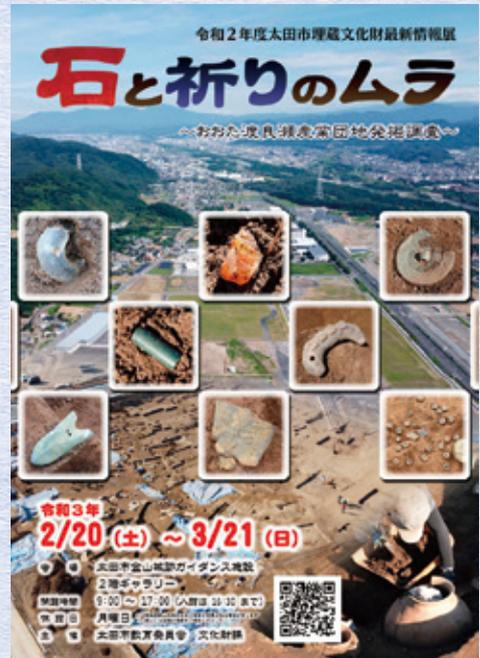


令和2年度埋蔵文化財最新情報展

- とき 令和3年2月20日（土）から3月21日（日）
- ところ 太田市金山城跡ガイダンス施設
- 入館者 2,986人

令和2年度の埋蔵文化財最新情報展は、反丸遺跡の発掘調査が終了し、予定していた現地説明会を開催できなかったことを受け、「石と祈りのムラ」と題し、速報展として行いました。

反丸遺跡は、太田市吉沢町にあり、平成29年度から令和2年度に発掘調査を行ないました。古墳時代の巨大集落が確認され、出土した遺物は収納箱で900箱にもものほります。水晶製勾玉や子持勾玉、銅鏡、土鈴、線刻のある石など、その中でも特に貴重と思われる遺物を中心に200点以上展示しました。



展示状況



水晶製勾玉などの希少な石製品



祭祀の道具である石製模造品



数多く出土した鏡形土製品



出土例の少ない平底短頸瓶（須恵器）



2個体出土した線刻のある石



令和2年度 確認調査一覧表

No.	遺跡名	所在地	調査期間	開発原因
1	F P泥流下遺跡群	亀岡町	R2.4	民間
2	上江田城館跡	新田上江田町	R2.4	民間
3	天良七堂遺跡	天良町	R2.4	民間
4	東別所遺跡	東別所町	R2.4	民間
5	寺中遺跡	矢田堀町	R2.4	民間
6	東部地区遺跡群	岩松町	R2.4	民間
7	長福寺遺跡	下田島町	R2.4	市
8	要害遺跡	新田反町町	R2.4	民間
9	浜町遺跡	本町	R2.5	市
10	上遺跡	鳥山上町	R2.5	民間
11	東部地区遺跡群	阿久津町	R2.5	民間
12	東今泉鹿島遺跡、鹿島浦遺跡、推定東山道駅路南ルート	東今泉町	R2.5	民間
13	五庵遺跡	高林南町	R2.5	民間
14	粕川山之神遺跡	粕川町	R2.5	民間
15	粕川山之神遺跡	粕川町	R2.5	民間
16	F P泥流下遺跡群	亀岡町	R2.6	民間
17	村上遺跡	吉沢町	R2.6	民間
18	上遺跡	鳥山上町	R2.6	民間
19	飯塚古墳群	飯塚町	R2.6	民間
20	新堀遺跡	台之郷町	R2.6	民間
21	川向・中西田遺跡	内ヶ島町	R2.6	民間
22	寺ヶ入古墳群	東金井町	R2.7	民間
23	推定東山道駅路南ルート	東新町	R2.7	民間
24	東今泉鹿島遺跡	東今泉町	R2.7	民間
25	飯塚古墳群、糸里制水田想定地	小舞木町	R2.7	民間
26	F P泥流下遺跡群	亀岡町	R2.8	民間
27	F P泥流下遺跡群	阿久津町	R2.8	民間
28	八反田遺跡	下浜田町	R2.8	民間
29	飯塚古墳群、糸里制水田想定地	小舞木町	R2.9	民間
30	梁場遺跡	高林南町	R2.9	民間
31	新島遺跡	只上町	R2.9	民間
32	細谷東遺跡、細谷八幡遺跡	細谷町	R2.9	民間
33	道原遺跡	只上町	R2.9	民間
34	梁場遺跡	高林南町	R2.9	民間
35	駒形神社埴輪窯跡	北金井町	R2.9	民間
36	天良七堂遺跡	天良町	R2.10	民間

No.	遺跡名	所在地	調査期間	開発原因
37	東今泉鹿島遺跡	東今泉町	R2.10	民間
38	東部地区遺跡群	堀口町	R2.10	民間
39	目塚遺跡	内ヶ島町	R2.10	民間
40	入谷遺跡	新田村田町	R2.10	民間
41	宮元遺跡	由良町	R2.10	民間
42	反町城館跡	新田反町町	R2.10	民間
43	宿裏遺跡	東今泉町	R2.10	民間
44	古戸赤城遺跡	古戸町	R2.10	民間
45	F P泥流下遺跡群	亀岡町	R2.10	市
46	房塚遺跡	内ヶ島町	R2.10	民間
47	東部地区遺跡群	岩松町	R2.11	民間
48	東部地区遺跡群	堀口町	R2.11	民間
49	諏訪山古墳群	藪塚町	R2.11	民間
50	北之庄遺跡	由良町	R2.11	民間
51	運動公園内遺跡	飯塚町	R2.11	市
52	堀廻遺跡	新田小金井町	R2.11	民間
53	天良七堂遺跡	新田小金井町	R2.11	民間
54	宿裏遺跡	東金井町	R2.12	民間
55	東部地区遺跡群	阿久津町	R2.12	民間
56	内ヶ島古墳群	内ヶ島町	R2.12	民間
57	花園遺跡	新田木崎町	R2.12	民間
58	天良七堂遺跡	天良町	R2.12	民間
59	龍舞落打遺跡	龍舞町	R3.1	民間
60	原店遺跡	東金井町	R3.1	民間
61	房塚遺跡	内ヶ島町	R3.1	民間
62	浜町遺跡	浜町	R3.1	民間
63	浜町遺跡	浜町	R3.1	民間
64	西長岡町宿古墳群	西長岡町	R3.2	民間
65	萩林遺跡	藪塚町	R3.2	民間
66	東別所西原遺跡	東別所町	R3.3	民間
67	安養寺森/内遺跡(安養寺館跡)	安養寺町	R3.3	民間
68	東部地区遺跡群	阿久津町	R3.3	民間
69	中道西遺跡	藤阿久町	R3.3	民間
70	古水糸里制水田跡	緑町	R3.3	県
71	八反田遺跡	下浜田町	R3.3	民間

開発に係る調整 令和2年度 事前照合・協議件数等

	公共事業	民間開発	合計
事前照合・協議	73件	2,366件	2,439件
本発掘調査	1件	6件	7件
確認・試掘調査	5件	66件	71件
学術調査	0件		0件
立会調査	19件	7件	26件
慎重工事	3件	610件	613件
93条届出		680件	680件
94条通知	28件		28件
確認・試掘調査面積	436㎡	8,119㎡	8,555㎡
本調査面積	5,231㎡	3,194㎡	8,425㎡
学術調査面積	0㎡		0㎡



新田荘歴史資料館

太田市世良田町3113-9 ☎0276-52-2215 開館時間/9時30分から17時 ㊿/月曜日

「令和2年度長楽寺展 -三十三観音の世界①-」

●と き 令和2年10月17日(土)から12月13日(日)

●入館者 1,312人



今回の長楽寺展では、長楽寺に伝わる「絹本墨画三十三観音図」を中心に長楽寺・東照宮の宝物を公開しました。

展示室入口のL字コーナーでは、長楽寺開山堂の頂相群(伝徳川義季像・達磨大師像・一翁院豪像)を展示し、日光東照宮からの「華鬘」6点と袋2枚を展示しました。

収蔵展示室には、長楽寺から群馬県立歴史博物館に寄託されている群馬県指定重要文化財の絹本墨画三十三観音図33幅のうち17幅を展示しました。(残り16幅は、令和3年度展示予定。)

展示室の出口部分では、世良田東照宮所蔵の群馬県指定重要文化財の板面著色三十六歌仙図の内、6面を展示した。実物(群馬県指定重要文化財)と復元模写を並べて展示しました。

展示資料を通して、中近世に繁栄した長楽寺・東照宮の歴史と文化の一端に触れることの目的を達成することができました。

ミニ企画展「新収蔵資料展」

●と き 令和2年6月2日(火)から10月4日(日)

●入館者 1,501人

上毛古墳総覧所収の綿打村3号墳出土の円頭大刀把頭(鉄地銀象嵌)が、令和2年3月に当館に寄託されました。この寄託を受け、「新収蔵資料展」としてロビーで公開しました。また、これに併せて太田市指定重要文化財である木崎二ツ塚古墳出土(上毛古墳総覧 木崎町8号墳)の円頭大刀把頭(鉄地銀象嵌)を公開しました。



高山彦九郎記念館

太田市細谷町1324-7 ☎0276-32-5632 開館時間/9時30分から17時 ㊿/月曜日

高山彦九郎は、上野国新田郡細谷村(現太田市細谷町)で生まれた江戸時代中期の勤王思想家で、後世の明治維新を導いた幕末の志士たちに大きな影響を与えた人物です。高山彦九郎記念館は、高山彦九郎を再評価し、その人物像を広く知っていただくため、平成8年5月に国指定史跡高山彦九郎宅跡 附遺髪塚の隣接地に開館しました。ぜひ一度お越しください。





縁切寺満徳寺資料館

太田市徳川町385-1 ☎0276-52-2276 開館時間／9時30分から17時 休／月曜日

特別展「往来物でめぐる日本列島の旅－西日本編－」

- と き 令和2年11月14日（土）から令和3年1月24日（日）
- 入館者 1,533人



昨年度（東日本編）に続き、今年度は、「往来物でめぐる日本列島の旅（西日本編）」を実施しました。往来物は近代小学校以前の約900年間、日本人の識字率を支えてきた読み書き教材です。特に江戸時代には寺子屋の普及とともに、「村尽」「町尽」など各地の地誌に関する往来物が数多く作られました。

これらのうち、今回は西日本（畿内、山陽道、山陰道、南海道、西海道、琉球）由来の往来物を一堂に集めました。今回も、①各地の史料を幅広く揃えたこと（西日本22府県を網羅する50点）、②現存唯一や新発見の貴重書が多いこと、③出版当時の原装本や写本の最古本を厳選したことなど、貴重本揃いの展示となりました。

縁切寺満徳寺（推定復元）ジオラマの寄贈

令和2年10月9日付けで、前橋市在住の造形美術家 長谷川富幸さんから、自ら制作した群馬県指定史跡「縁切寺満徳寺遺跡」の推定復元ミニチュア模型（1060mm×900mm）を太田市に寄贈いただきました。

寄贈していただきましたジオラマは、縁切寺満徳寺資料館のエントランスホールにて、公開しています。



藪塚本町歴史民俗資料館

太田市藪塚町149

昭和53年11月の開館以来、「石田川遺跡」の出土品（古墳時代前期の「石田川式土器」の標識資料）や縄文時代晩期の「石之塔遺跡」の出土品などの考古資料を中心に展示して参りましたが、施設の老朽化などから、令和3年3月より「臨時休館」しています。





大隅俊平美術館

太田市由良町3051 ☎0276-20-6855 開館時間／9時30分から17時 ㊿／月曜日

季節毎の展示



- 「春の刀剣展示」令和2年1月25日（土）から5月24日（日） 入館者425人
- 「夏の刀剣展示」令和2年6月2日（火）から9月22日（火・祝） 入館者339人
- 「秋の刀剣展示」令和2年9月29日（火）から令和3年1月17日（日） 入館者644人
- 「春の刀剣展示」令和3年1月23日（土）から5月23日（日） 入館者458人

年中行事

七夕飾り

- と き 令和2年6月30日（火）から7月12日（日）
- 見学者 68人



重陽の節句

- と き 令和2年9月8日（火）から13日（日）
- 見学者 48人



ふいご祭り

- と き 令和2年12月6日（日）
- 見学者 44人



雛飾り

- と き 令和3年2月23日（火）から3月7日（日）
- 見学者 71人





史跡 金山城跡 ガイダンス 施設

太田市金山町40-30 ☎0276-25-1067 開館時間／9時から17時 ㊿／月曜日

ギャラリー展示（企画展）

企画展名	実施期間	入館者
「金山城の大手道を探る。」	令和2年8月1日から 令和2年9月27日	3,359人
「第9回篆刻展 江戸の文化人落款印模刻展 併催会員作品展」	令和2年10月3日から 令和2年11月15日	3,202人
「郷土の麺食文化—関東甲信駿に広がる ホウトウ系麺食の伝統—」	令和3年1月9日から 令和3年2月7日	2,698人
埋蔵文化財最新情報展 「石と祈りのムラ」	令和3年2月20日から 令和3年3月21日	2,986人
「日本最大の郡庁—新田郡家はなぜ造られたか?—」	令和3年3月27日から 令和3年5月30日	6,522人



教室

教室名	実施日	回数	講師	受講者
金山茶道教室	令和2年10月29日、11月5・12・19・26日	5回	高橋芳子氏	96人
水引細工教室	令和2年12月16・17日	2回	深町なつき氏	19人



水引でつくった正月用のリース



立礼席式茶道

オリジナルグッズ

当施設では、新田金山城御城印のほか金山城に関連するオリジナルグッズを有償頒布しております。来館・登城記念に大好評です。(オリジナルグッズは郵送対応しておりません。直接ご来館の上購入してください。)



オリジナルグッズ (新田金山城御城印)



オリジナルグッズ (トートバッグなど)